

平成29年4月27日

原料費調整制度に基づく平成29年6月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年6月検針分の単位料金を、平成29年5月検針分には比べ1m³(45MJ)につき0.33円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成29年1月～平成29年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で平成29年5月検針分と比較して、11円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成29年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

なお、今回の平成29年6月検針分から、標準家庭におけるガスのご使用量を見直しました。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	907.20	2,527.20
調整単位料金 (円/m ³)	115.76	108.52	101.28
(参考) 5月 調整単位料金	115.43	108.19	100.95

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
適用料金(円/月)	4,585	4,596	11

【参考】ご使用量見直し前の標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,126	5,139	13

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 平成29年6月検針分から、標準家庭におけるガス使用量の算定期間を見直しました。
見直し後:平成24年度～平成28年度の5ヵ年平均のご家庭1件の1ヵ月あたり平均使用量
見直し前:平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均のご家庭1件の1ヵ月あたり平均使用量
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年12月～平成29年2月 の平均 (5月検針分)	平成29年1月～平成29年3月 の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	21,660	22,150	490
LNG	44,660	45,400	740
LPG	52,590	56,850	4,260

基準平均原料価格(b)	27,350	
-------------	--------	--

差額(a-b)	▲ 5,600	▲ 5,200	400
---------	---------	---------	-----

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{45,400} \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{56,850} \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= \boxed{22,148.69}$$

↓(10円未満四捨五入)

$$\boxed{22,150} \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{22,150} \text{ 円/t} - \boxed{27,350} \text{ 円/t} = \boxed{\Delta 5,200} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$\boxed{\Delta 5,200} \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{\Delta 5,200} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \boxed{\Delta 4.39} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
34m ³ (45MJ/m ³)			
適用料金(円/月)	4,585	4,596	11

* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込み)=基本料金(907.20円)

+ 調整単位料金(112.91円)

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

+ $\boxed{\Delta 4.39} \text{ (円)} \times 34\text{m}^3$

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。